

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分		実績	整理番号	10	課題区分	C	令和7年4月28日	
横断的な課題		収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興						
地域重点政策		北信州に生まれ・育ち・集まる人々が、交流し活躍する暮らしの推進					北信地域振興局	
実施機関		北信地域振興局			担当課	所属	北信農業農村支援センター	
事業名		北信州の食を楽しむ事業(北信州おいしい食材フェア2024)				電話	0269-23-0209	
						E-mail	hokushin-nosei@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	北信地域の特産物である”アスパラガス”、”伝統野菜”、”きのこ”など、地元飲食店での提供や子どもたちへの食育活動を通じてPRし、需要の高まりによる認知度向上と消費拡大、生産量増加を目指す。						
	現状と課題	・管内はきのこの大産地であるが、生産量全国シェア90%以上である事実は地域住民にも知られておらず、生産量も減少傾向にある等、地域振興に活用しきれていない。 ・また、アスパラガス等他の食材についても生産量は減少傾向にあり、より認知度向上・消費拡大による生産量増加のための継続的なPRが必要である。 ・きのこやアスパラ等薄利多売の側面がある品目は、生産量の減少が産業衰退に直結する危惧がある。 ・おいしい食材フェアについては、毎年スタンプラリーへの参加者は増加傾向にあるが、認知度はまだまだ低い(延べ参加者数200名弱)。 ・保健福祉事務所の「信州食育発信3つの星レストラン」と連携する等、相互の事業についてPRを行ったり、Instagramを活用しさらなる情報発信の強化を図る必要がある。						
	内容 (変更後の内容)	【デジタルスタンプラリー】 北信地域の特産物を使った料理を提供する飲食店と連携したスタンプラリーを実施し、食材の認知度向上と消費拡大を図る。 実施時期：4月26日(金)から11月24日(日)まで 場所：管内全域で対象食材を使った料理を提供する飲食店 内容：北信地域の特産物をより、召し上がってもらうよう特産物を使った料理を食べることで押せるスタンプラリーを開催する。 【きのこを使った食育イベント】 北信地域の特産物きのこについて、子どもの頃から知ってもらい地元食材への関心を高める。 日時：7月31日、8月30日、9月18、19日、11月15日 場所：小学校または保育園等 内容：給食関係の栄養士等と連携し、普段の子どもたちの給食や地元食材について知識を深める機会を設けるとともに、きのこの収穫体験等体験型のイベントを通じて地元食材への関心を高める。						
	事業期間	令和6年4月 ~ 令和7年3月						(単位:円)
事業費等	事業を構成する細事業名等		実施内容		計画(実績)額		備考	
	北信州おいしい食材フェア2024		・デジタルスタンプラリーの開催 ・きのこを使った食育イベントの開催		917,522		チラシポスター99,000円(ポスター70枚、チラシ3,400枚)、景品代106,320(スタンプラリー40人分)、送料25,701、スタンプラリー資材8,318、ガソリン代26,196、郵送代等24,299、スタンプラリーシステム改修等606,100、POP料理写真印刷費12,670、消耗品類8,918	
	合 計				917,522			

指標及び達成状況	成 果 指 標	目標値	成果	達 成 状 況
	地域食材の料理提供数の拡大（スタンプ数の拡大）（R5:351個）	500個	504	○ 達 成
	参加飲食店舗の拡大（R5:延べ51店舗）	延べ60店舗	56	● 一部達成
	スタンプラリー延べ参加者数（R5:199名）	250名以上	511	○ 未 達 成
事業実績・成果	【北信州おいしい食材フェア2024】 ・料理の提供数（スタンプ数）は、504であり目標達成できた。 ・参加店舗数は延べ56でありわずかに目標に届かなかった。 ・スタンプラリー延べ参加者数は511人となり目標達成できた。 昨年度と比較してフェア参加店舗は増加し、スタンプラリー参加者および獲得スタンプ数は大幅に増加した。フェアを通して、北信地域を訪れた方や地元の方に地元食材のPRをすることができた。またフェアの実施と呼びかけにより、店舗側も地元食材の活用について意識するきっかけとなった。 ・食育イベントについては4回実施し（内1回は2日にわたって実施）、地元食材であるきのこに関する学習やもぎ取り体験をしてもらった。生徒および学校教員からは好評であり、地域の食に関するよい学習の機会となったとの感想を得た。			
	今後の方向性	フェア参加店舗や参加者数が増えたものの、店舗数には市町村間で偏りがあり、特に山ノ内町、栄村は参加店舗が0であった。今後はより店舗が参加しやすいよう対象食材やイベント形式を整え、全域的なイベントとなるよう努める。		